

情報はチカラになる。

BOOK インフォメーション



vol.8

平成(2015)年 5 月号

男女の間のさまざまな課題に
気づき、私らしい人生を送る
ための書籍を隔月でご紹介



女性と市民活動

地域の活動に関わる女性たち

核家族化が進み、密室育児が深刻化するなか、子育て役割が女性の肩だけに重くのしかかる現状を改善したいと子育て広場を立ち上げた A さん。からだと心の性の不一致に苦しむ人を支援するグループを立ち上げた B さん。乳幼児を背負いながら市民館の講座を受講したのを機に社会課題を解決する仕事に再就職を果たした C さん。80 代にして得意な裁縫技術を活かし亡くなるまで市民活動団体のグッズづくりに生きがいを見出した E さん——。これらの話は川崎市内の女性たちの実話です。彼女たちは暮らしやすい地域社会を実現するため、行政や企業とは違ったきめ細かなサービスを、自発的・自主的に展開してきました。このような市民の視点から自発的に課題解決に取り組み、営利を目的としない活動を「市民活動」といいます。

活動に関わるキッカケをつかむ

市民活動への関わり方は、自ら立ち上げる人、スタッフとして働く人、ボランティアで参加する人など、人によってさまざまです。「男は仕事/女は家事・育児・介護」といった性別役割分業のなかで、多くの女性たちが家庭、学校、地域などの活動を担ってきました。活動を始めたきっかけも、講座受講、知り合いからの依頼、町内会・自治会や PTA を通じてなど人によってさまざまですが、そのような地域との関わりの中で、女性たちは自身の経験やスキルを社会で活かしてきたといえるでしょう。

すくらむ 21 ではこれまで、市民と連携して講座の企画や調査等を行い、地域で活動を始める女性たちの“はじめの一歩”を応援・サポートしてきました。今日では男性が活動に参加するケースも増えています。市内各施設の支援メニューを上手に利用して、この機会にぜひ、市内の市民活動団体やボランティア情報を調べ、活動範囲を広げてみてください。新たな出会いが待っているはずです。

【役立つ 3 冊をご紹介します】

※市内図書館 & すくらむ 21 で読めます & 借りられます



市内 180 以上に及ぶボランティア募集情報を掲載

『ボランティア募集冊子 ボラ・ナビ 2014』 公益財団法人かわさき市民活動センター 2014 年

市内の施設や市民活動団体が募集するボランティア情報を掲載。福祉施設の慰問活動、子どもの見守りや学習サポート、森林管理など、募集内容は 180 以上。自分の興味・関心、活動できる日程・時間帯・時期、活動したい地域等に応じて選べるのも魅力。参加にあたっての心構えなども掲載。2015 年版は 6 月下旬～7 月上旬発行予定。詳細はかわさき市民活動センター (044-430-5566) へ。



女性が地域のエキスパートであることを教えてくれる本

『女性のための草の根のまちづくり ノルウェーの地域計画における女性参画プロジェクト』

ノルウェー環境省編 女性とまちづくり研究会:訳 1999 年

「あそこに保育園がほしい」「もっと遊び場があったらいい」——家庭や地域の生活で日頃感じるさまざまな願いを、まちづくりに参加しどう実現していけばいいのかわかりやすくまとめた本。第一部ではまちづくり計画に参加する意義を、第 2 部では、実際にまちづくり計画をつくる方法を掲載。これから何かを始めたい、プロジェクトを立ち上げたい人たちに最適な一冊です。



“NPO で働く”をキャリアにしたい方へお勧めの一冊

『NPO でキャリアを描く NPO 就職ハンドブック』 NPO サポートセンター発行 2004 年

社会貢献を仕事にしたい方、ボランティアではなく就職先として NPO を考えている方にお勧めの一冊。今や多様なキャリアデザインを描ける時代。地域生活に身近な課題を解決することを使命とした NPO 等の市民活動団体で働くことの意義、企業の違い、働く前に考えておきたいことなどを網羅しています。採用担当者や実際に働いているスタッフのホンネも掲載。詳細は NPO サポートセンター (03-3547-3206) へ。

* 絵本の紹介 * 「かたあしだちょうのエルフ」 文・絵 おのき がく
出版 ポプラ社

アフリカの砂漠サバナのバオバブの木はなせあんなに忘れられないほどの印象を旅人に与えるのでしょうか。木の周りではキリン、ライオン、象などの動物たちが自然に生活しています。地球上の植物とは信じがたいほどシンボリックな木です。

うっとりとした雨季が終わって砂漠に草が芽吹き、木の芽がのびて花が咲き、実がなると、動物たちにとって楽しい日々がやってきます。カモシカ、シマウマ、ダチョウ、サイなどの動物だけでなく、サボテンなどのたくさんの花が咲き誇っている草原に、エルフという名前のダチョウが動物の仲間たちと暮らしていました。若くて強くて、大きなダチョウで、子どものが大好きなエルフでした。

平和な日々が続きましたが、ある日ジャッカルやライオンがやってきてみんなを襲います。そこでエルフはみんなを守ろうと懸命に…。やがてエルフは体が…。

あんなに優しくあったみんなの心も少しずつ変わっていきます。年をとってしまっ、動けなくなっていくエルフ。繰り返し恐ろしい動物が子どもたちを襲いますが、エルフは子どもたちを守り、闘います。アフリカの草原の何気ない景色の中に生きている草花、動物たちとともに砂漠で最後まで生きていきたいエルフの孤独感と苦悩が胸に迫ります。生きるという営みと弱肉強食の自然体系のおきてとの拮抗の中で、エルフの最後の日々が人間の人生と重なります。

最後の1ページの震えるようなバオバブの木は、まるで読者に向け「エルフはここにいますよ」と話しかけているようです。それとも子どもたちとずっとともにいたいという願いが実現した喜びを伝えようとしているのでしょうか。



すくらむ21 4月・5月の新入荷書籍 ※すくらむ21で読めます&借りられます。

タイトル	著者	出版社	入荷
カウンセラーは何を見ているか	信田さよ子	医学書院	4/24
ふりまわされない 会社、仕事、人間関係がらくになる7つの物語	信田さよ子	ダイヤモンド社	4/24
リオとタケル	中村安希	集英社インターナショナル	4/24
女性はなぜ活躍できないのか	大沢真知子	東洋経済新報社	4/24
何を怖れる フェミニズムを生きた女たち	松井久子	岩波書店	4/24
男女共同参画政策—行政評価と施設評価	内藤和美、山谷清志	晃洋書房	5/29
崖っぶちで差がつく上司のイクボス式チーム戦略	日系 DUAL 編	日系 DUAL	5/29
子育てがプラスを生む「逆転」仕事術 産休・復帰・両立、すべてが不安なあなたへ	小室淑恵	朝日新聞出版	5/29
女性のための草の根まちづくり ノルウェーの地域計画における女性参画プロジェクト	ノルウェー環境省 編, 女性とまちづくり研究会 訳	かもがわ出版	5/29
NPO でキャリアを描く NPO 就職ハンドブック	NPO サポートセンター	NPO サポートセンター	5/29

[発行・編集・図書の間い合わせ先]

川崎市男女共同参画センター (愛称:すくらむ21)

※JR 南武線「武蔵溝ノ口駅」徒歩 10 分

※東急田園都市線・大井町線「溝の口駅」徒歩 10 分

〒213-0001 川崎市高津区溝口 2-20-1

電話 : 044-813-0808

FAX : 044-813-0864



携帯はこちらから



すくらむ21

検索